



Echo No. 176
令和7年 春彼岸号
羽村臨済会 * * * *

全てはとらえ方次第

春は出会いと別れの季節という事ですが、なる程年度^{ほど}変りとなりますので、環境

を大きく変える方も多く様です。はそれをどうとらえるかではないでしょ
うか。

とはい、それを嫌がついていても人生は先に進みませんので人間社会で生きていく

手を打てば 鯉は餌と聞き 鳥は逃げ
女中は茶と聞く 猿沢の池

という有名な歌があります。奈良の有名

な観光スポット猿沢の池には鯉も鳥もいて
周りには旅館が並んでいます。そこでポン
ポンと手を打てば、鯉は餌をもらえると寄つ
ていき、鳥は驚き逃げ、旅館の女中は客が
お茶を所望していると思つて茶を淹れる。
手を打つという行為に対してこれだけ思
いと反応が違つてくる訳で、これは我々一人

上では避けられないものでしょ

う。

そもそも生きていれば様々なものとの別
れを経験します。親しき人の生死の別れ、
転居などによる友との別れ、恋人との別れ、
配偶者との別れ、年老えば若き自分自身と
別れなければなりません。全く人生とは別

れそのもので、自分自身が変化する訳です
から、それも致し方ない事でしょ

う。問題

嬉しい事があつても有頂天にならず氣を
引き締め、悲しい事があつても落ち込むの
も程々に善後策を考える。こういう気構え
で生きていれば感情の起伏^{きふく}を抑えることが
できるでしょ。それが抗^{あらが}えない運命に翻
弄されず自らの人生を^{まつと}全うする上で大きな
助けとなるのです。

その気構えを保つていれば、やがてその
人は他人から見れば悲しい事ととらえる様
な事も、自らを利する事にえていける様
になります。まさに全てはとらえ方次第。
自分自身の人生を良いものにできるのは自
分自身だけなのですから。

(一峰 義紹)



『禅語に学ぶ』

ば
れ
ま
す
よ
？

魚行水濁
鳥飛毛落

水が澄んだところを魚が泳ぐと
の砂が舞い上がつて水が濁る。鳥が空を
飛べば翼から羽が落ちる。この二つは、
どちらも生きて動いているからこそ起こ
ることであり、意識せずとも自然と痕跡
を残していることを表しています。

つまり、「行動を起こすと何かしらの形で必ず痕跡は残るものである」という意味になります。

人生という長い旅路を歩んでいると、そこには必ず足跡が残ります。何か目標に向かつて努力すること、誰かの為に行動すること、その行いは良い結果として

必ず自分へと返ってきます。

その逆もしかり、怠けていては自分の為にならず、他の人を嘘やごまかしで欺いたり、傷つけていたりしては、孤立するなど悪い結果として返ってきます。

の 中 で 発 し た 言 葉 に よ つ て 、 相 手 に 元 気 を 与 え た り 心 を 落 ち 着 か せ た り と 、 知 ら

め三十七に『良し跡』を残していくことか
あるでしよう。

また、心でそ^うは思つていなくとも、
自分の発した言葉によつて相手に深い

発言が、良くも悪くも大きな波紋を与え
ることが多々あります。

「魚行水濁 鳥飛毛落」という禅語

なるでしよう。

(禪福尚玄)

禅と共に歩んだ先人
山やま 岡おか 鉄てつ 舟しゅう XIX

臨済禪と接し、その精神性や美意識に感化される事により、自分自身を高め、偉大な功績を残した先人達を紹介するという趣旨で進めていこうというこの項ですが、前回に引き続き、幕末から明治にかけて活躍し、現代の日本のあり様にも大きな影響を与えていえる「山岡鉄舟」についてお話をさせていただきたいと思います。

流と称する訳なり」とその命名の理由を述べています。自らが刀そのものになりきるという事で、禪の深淵に至つた鉄舟の境涯そのものとも云えるものでしよう。さらに無刀流剣術大意というものがあり、それには

一、無刀流剣術は勝負を争わず。心を澄まし胆たんを練り、自然の勝を得るを要す。

一、事理の二つを修行するに在り。事は技なり、理は心なり。事理一致の場に至る。これを妙処となす。

一、無刀とは何ぞや。心の外に刀な

がおかれ精神面はなおざりにされていました。これは明治9年（1876年）に発布された「廃刀令」により、真剣を扱う事が事実上なくなつた事が大きいと考えられます。剣を交じえるのは命がけの事では無くなり、道場で防具を着け、竹刀で打ち合う事となりました。真剣に比べて軽い竹刀を真剣ではあり得ない程長く作り、打ち合いに勝てばエラいという風潮を鉄舟は嘆き、このままでは剣術の未来はないと心を痛めていたのです。そこで無刀流を開くにあたり、剣道中興無刀流開祖として「余の剣法や、ひたす

らすして心をもつて心を打つ。これを無刀と謂う。その修行は刻苦工夫すれば、たとえは水を飲んで冷暖自知するがごとく、他の手を借りらず。自ら發明すべし。

これらの言葉からわかる様に鉄舟は門弟に精神的修養を求めています。当時はや流行つていた道場では技量の向上に重き

修行規則を定めました。剣道を通して悟りに至つた鉄舟の面目躍如といつた所でしよう。

禅寺雜記帳

- ◆「辛氣臭いのは馬鹿にしたらあかん、おそろしい程 寿命を縮めるんや」これはNHKのBSで再放送中の朝ドラ『カーネーション』のセリフです。神戸で事業を営む主人公の裕福な祖母（十朱幸代さん）が、戦時中、女性はモンペを履くことが義務付けられることへの抵抗として、一番上等の大島紬の着物をモンペに仕立てて履いていたのを見つけた主人公（尾野真千子さん）に対するの答えです。
- ◆このセリフにはなるほど！とうなづかされました。富士山を見るとたまらなく良い気持ちになるのは、辛氣臭いの真逆だからなのか、と。
- ◆大谷翔平選手のホームランにスカツとした気持ちになつたり、素晴らしい絵画や彫刻などのアートを見たり、素敵な音楽を聞くと、それだけで寿命が延びているのかもしれません。
- ◆病は氣から、という言葉もあります。元ボクシング世界チャンピオンの竹原慎二さんは2014年にガンになり、5年後の生存率は40パーセントと診断されました。だが、笑うと免疫力や治癒力が上がりと聞いて、治療の合間にお笑いの動画を見てとにかく笑うようにしていた所、順調に回復したというのです。今もお元気にお仕事をされています。



樂を聞くと、それだけで寿命が延びているのかもしれません。

◆病は氣から、という言葉もあります。元ボクシング世界チャンピオンの竹原慎二さんは2014年にガンになり、5年後の生存率は40パーセントと診断されました。だが、笑うと免疫力や治癒力が上がりと聞いて、治療の合間にお笑いの動画を見てとにかく笑うようにしていた所、順調に回復したというのです。今もお元気にお仕事をされています。

◆『相国寺展』が3月29日から上野、相国寺は京都にある臨済宗の大本山で、金閣寺、銀閣寺を有する名刹です。雪舟、円山応挙、伊藤若冲などの作品が展示されます。5月25日まで。(禅林 恭山)

◆『相国寺展』が3月29日から上野、相国寺は京都にある臨済宗の大本山で、金閣寺、銀閣寺を有する名刹です。雪舟、円山応挙、伊藤若冲などの作品が展示されます。5月25日まで。(禅林 恭山)

東京芸術大学の美術館で開催されます。相国寺は京都にある臨済宗の大本山で、金閣寺、銀閣寺を有する名刹です。雪舟、円山応挙、伊藤若冲などの作品が展示されます。5月25日まで。(禅林 恭山)

んな時こそ笑顔になつてみましょう。作
り笑いでも免疫力は上がるそうですし、前向きな気持ちになる筈です。笑うこと
は「辛氣臭い」を一瞬で吹き飛ばせる魔
法の技です。